

## 東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日  
 例 会 日 毎週月曜日 12:30~  
 例会場所 シェラトン都ホテル大阪  
 事 務 所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38  
 〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号  
 TEL. 06(6772)2320  
 FAX. 06(6772)2327  
 E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会 長 佐 藤 三千秋  
 会長エレクト 百 濟 洋 一  
 副 会 長 和田栗 一 良  
 幹 事 大 畑 齊  
 会報委員長 宮 崎 康 治

## MAKE DREAMS REAL 夢をかたちに

2008~2009年度 国際ロータリー会長 D. K. リー

第 1716 回例会 平成 21 年 3 月 2 日 (月曜日) 第 2 7 号

### 本日の例会

3月2日(月) 第1例会

- ◎ソング 「君が代」「奉仕の理想」
- ◎卓 話 「情 報」  
(担当: 松浦 永郁会員)
- ◎本日の献立 軽 食

### 次回の例会

3月9日(月) 第2例会

- ◎卓 話 「趣味の神社めぐりについて」  
(担当: 大石 忠克会員)
- ◎本日の献立 季節の魚定食

### 先週の例会記録

2月23日(月) 第4例会

- ◎ゲスト 海を越える看護団 舟橋智恵様他1名

### 会長挨拶

会長 佐藤三千秋

本日お越しの“海を越える看護団”の舟橋さん、吉富さんには、瀧田世界社会奉仕委員長の委員会報告の後にお話し頂きたく、よろしくお願い致します。

瀧田委員長より計画説明がありましたように、今年度当クラブ独自の二つ目の世界社会奉仕プロジェクトは、昨年5月にサイクロンに襲われて甚大な被害を被ったミャンマーへの支援です。委員

会報告で詳しく報告して頂きます。

ミャンマーといえば、湯谷会員の知り合いの小丸氏夫妻がヤンゴンにおられて、非常に貧しい国で支援を受けたくても受けられない状況ということを知っていて、約12年前に当クラブの独自プロジェクトとして、ヤンゴンにある寄宿制のメアリーチャップマンという「ろうあ学校」の生徒の栄養状態が非常に悪いとのことで、学校内での養鶏設備・養鶏技術育成への支援活動を3年間続けたのが、当クラブのミャンマー支援の始まりだと思っています。3年間で何人もの当クラブの会員が援助活動の現況視察のためミャンマーを訪れましたが、私も参加して、我々の活動が現地の人々にどれほど喜んで頂き、感謝されているかを自分の目で見て感動致しました。その後、当クラブの活動としてモーパリン村の小中学校建設、水に困っている奥地での井戸掘りプロジェクト、吉岡先生が主催されている医療奉仕団への器材援助と続いておりますが、当クラブによる奉仕活動ばかりでなく、当クラブ会員単独の援助活動として、モーパリン村の小中学校に奨学金を提供されたりして、ミャンマーへの支援が多様化して嬉しい限りです。

### 幹事報告

幹事 三木武志

1. 本日例会終了後、5Fカトレアの間において、

CLP委員会をおこないますので、委員の方は  
よろしくお願ひします。

## 出席報告

岡田委員

本日の会員数	43名
本日の出席者数	31名
本日の出席規定適用免除会員	15名
本日の出席率	86.11%
2月9日の修正出席率	81.58%

## SAAニコニコ箱

松浦副SAA

百済会員 例会欠席のお詫び。

## 委員会報告

### 世界社会奉仕委員会

委員長 瀧田浩彦

ミャンマーについては、メアリー・チャップマン・スクールに始まり、モウパリン村小中学校建設(2002)、ミャウンゾウ村・コオズイン村、他の高地の4ヶ所の深井戸の建設、ジャパン・ハートの吉岡先生の医療団への手術用麻酔器の贈呈や、昨年の未曾有のサイクロン被害援助の為、緊急医薬品購入資金、災害援助の為、キン・メイ・タンへの資金援助と、此の十数年間、クラブも、各有志個人も援助を続けて参りました。

今日はジャパン・ハートの中の“海を越える看護団”の代表の方のお話を、12時から別室で聞かせて頂きました。その上で我々東大阪中央RCでは、世界社会奉仕の二つ目のプロジェクトとして、ミャンマーのユン・ヤンゴン地区のトングウア村とタンピア村の孤児達39名の救済を主目的として、金20万円を看護団に託して、教育支援、生活支援(食糧・衣服・住居)、精神的支援(心のケア)等に使って頂きたいと思ひます。尚、結果報告も必ず実行して頂きます様にお願ひ致します。又6月1日は湯谷会員の卓話当番ですので、その時に代表の方から途中経過のご報告を頂ける旨伺って居りますので、よろしくお願ひ申し上げます。只今から会長より看護団代表の方にお渡し頂きたいと思ひます。

## 卓話

### 「海にまつわる怖い話」

金子 勝信会員

ふだん、人がサメと聞いて思い浮かべるのは「海の殺し屋」や「人食い」といった不吉なイメージ

でしょう。しかしサメの持つ恐ろしい面がやたらと強調されるようになったのは、つい最近のことで、1975年に映画「ジョーズ」が公開されてからです。今の時代、何かの生き物に人が食われるなどということは、めったにないため、このサメの襲撃というテーマは、当時、非常にセンセーショナルな話題となりました。

それ以降、映画やテレビが紹介するサメの姿は怪物じみており、普通の動物としてのサメの姿とは大きく異なるものでした。そしてサメに対する怪物幻想は、いつしか現代人の頭にこびりついて離れないものへと変化していったのです。

実際のサメの被害例はSHARK・ATTACK・FILE(米国海軍サメ被害調査報告書)にその数について統計されており、その数は年間10件程度、日本においては数年に1件程度の件数でしか報告されておらず、その確率は山の中で蜂に刺されて死亡する確率程度しかないそうです。

最も多く人間が襲われた例としては、第2次世界大戦中に戦艦や輸送艦が沈没し、その乗員が犠牲になったことが挙げられます。中でも米国戦艦インディアナポリス号の乗員については、1,100人中生存者は316名で、大半がサメの餌食になったことが有名です。

しかし、サメは人を好んで襲ったりするわけではなく、ただ人間が海という食物連鎖の中に入り込み、魚の興味を引く行動をとってしまった結果、たまたま捕食性の高いサメに出会い、運悪く捕食の対象になってしまったに過ぎません。

## 「ローターアクト週間」

### \*ローターアクト・クラブ Rotaract Club(RAC)

ロータリー・クラブ提唱の18~30歳(30歳になったあとの6月30日までよい)までの青年男女によって構成される世界的青年団体のクラブで、1968年に発足しました。ローターアクト・クラブの目的は、青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的ニーズに取り組み、親睦と奉仕生活を通じて全世界の人々の間に、よりよい信頼関係を推進するための機会を提供することです。

3月13日を含む1週間が「世界ローターアクト週間」に指定されています。